

平成〇年〇月〇日

様

## 様宅 ネズミ防除に関する診断報告書

有害会社  
害虫・害獣  
予防駆除  
**サンアイ**

本 社 〒509-0401 岐阜県加茂郡七宗町上麻生 1 5 8 8 - 2

TEL 0574-48-1219 FAX 0574-48-2072

美濃加茂事務所 〒505 - 0046 美濃加茂市西町 8-61

TEL 0120 - 029164 FAX 0574 - 27 - 6252

調査日時：平成○年○月○日 PM3：00～PM5：45

調査場所：可児市 TEL：0574-00-0000

依頼者：様

調査人名：(有)サンアイ 今瀬芳尚 (防除作業監督者 防第 9137 号)

## 調査項目

- 1、侵入ネズミの種類同定調査
- 2、生息状況と個体数の調査
- 3、被害の調査
- 4、侵入ルートの推定調査
- 5、駆除工事方法の選定と期間
- 6、防鼠工事（再侵入防止）の思案

## 報告

### 1、侵入ネズミの種類同定調査

**種類：**ネズミ調査で生息種類の同定を行なう場合、有力な手がかりとなるのは糞・営巣場所・運動能力と言えます。

- \* ドブネズミ：糞はずんぐり型で1~1.5cm程、地中営巣、登攀力少し泳ぎが得意
- \* クマネズミ：糞は細長く1~1.5cm程度、地上営巣、登攀力に優れる
- \* ハツカネズミ：糞は0.5cm程度、積荷の隙間やわらの下、少しの隙間で侵入可能

上記の特性から考察して、**邸**の状況を分析し、下記添付写真状況でも確認して頂けます様にネズミの種類はクマネズミです。



糞の形状 1.5cm程度の細長



天井裏の営巣場所  
断熱材を上手く利用して営巣



電線の上を上手く移動  
頻繁に通過する場所は黒ずみます

### 2、生息状況と個体数の調査の

**生息状況：**以前からネズミの侵入があった様ですが、屋内での生息が本格化して、最近特に活発か  
し始めたとの事ですが、現時点での営巣は天井裏に使用された断材が中心と成っています。  
営巣場所と成る断熱材は部分的に盛り上がる為、今回の目視で確認される営巣は10  
箇所以上存在し、個体数の繁殖状況が伺えます。

クマネズミは1回の分娩で6~8匹子を産み、3ヶ月も経過すると性成熟し妊娠可能な  
状態と成ります。寿命は1年~2年で、妊娠期間は3週間。餌場の環境さえ良ければ1  
年で20~30匹の大家族へと、ねずみ算的に増えていきます。

外気温の暖か時期は倉庫などを営巣場所にしてはいますが、外気温の低下と共に屋内へ侵  
入し、営巣場所を確保する訳です。

近年、ネズミにとっての住環境は快適に成って居る様で、天敵の減少と食材の豊富さが  
増加促進に輪をかけています。

**個体数：**営巣場所で生まれた子ネズミが全てが順調に成長出来る訳では無く、自然淘汰される為  
 一对のペアからの性成熟に至るネズミは4匹程に成ります。  
 従って、吉田邸の生息状況から判断すると10匹程の固体数になると憶測出来ます。



大小の糞 親子の証拠



巣穴に利用している断熱材



膨らんだ断熱材、中が営巣場所

### 3、被害の調査

**被害：**ネズミの被害として掲げられる項目に、糞・尿によるシミ 電線や構造体等が齧られる  
 被害 家ダニの発生、が有りますが、邸でも同様に、天井裏のシミ・糞・天井材が  
 齧られています。幸いにVVF電線は少し齧られた程度で済んでいます。



倉庫内のVVF電線



天井裏でのVVF電線



天井裏のインターホンの電線



断熱材は絶好の棲家となる為糞も堆積し易い、またコーナー部分には意図的に尿をします



断熱材下の天井材や和天井のさね、桝木も齧られていました。

#### 4、侵入ルートへの推定調査

侵入ルート：外部から建物内への侵入は、数箇所を確認され必要に応じて使い分けて居る様です。  
 代表的な箇所としては、下記添付写真の様に物置倉庫側の電線引き込み箇所と、入母屋屋根の破風付け根。また、東屋根の破風付け根、北側台所増築部分の屋根の重なり部分が代表的な通路と成っています。



破風の付け根は大きく 穴が開いたまま

侵入口と成る電線の引き込み箇所

室内より見る

瓦の上 に足跡が残ります



台所の屋根を出した部分は奥が確認し難くハッキリと見えませんが、手前の板金に足跡を付けています  
 同様に、温水器上部の屋根は、東の屋根の瓦にも足跡が確認出来ます。

## 5、駆除工事方法の選定と期間

**駆除方法：**頻繁に建物内部へ侵入する特定の経路に粘着トラップを仕掛け捕獲を試みたいものです  
但し、捕獲された所では2度目は掛かり難くなりますので、毒餌の併用と粉剤による駆除も同時進行をしたいものです。

- ① 粘着トラップによる捕獲
- ② 毒餌による殺鼠
- ③ 粉剤使用での接触による慢性毒性的殺鼠（体内へ徐々に蓄積）

**駆除期間：**最低でも調査期間を含め**2週間**、毒餌への喫食が無き場合、他家で餌を確保している場合が考えられます、その様な場合**最長2ヶ月程**

**効果判定：**特定の侵入経路に粉剤を用いて、足跡が**2週間**確認されなければ、駆除もしくは侵入諦めの効果ありと判定。

## 6、防鼠工事（再侵入防止）の思案

**防鼠工事：**ネズミ駆除で大切な事は、現状の個体を完全に駆除した上で、再び外部から違う個体の侵入を防ぐ（防鼠）工事が必要不可欠と成ります、但し駆除が完全に完了しないまま出入り口を塞いでしまうと、電線等を伝いとんでもない所からの侵入を繰り返す場合がありますので、慎重に配慮すべきです。

また、上記侵入ルートは短時間での調査ですから断定できる実証を得ていません。

従って、別途表記致します御見積書は現況調査範囲内での防鼠工事の見積と成りますので、新たな侵入ルートが存在した場合別途でのお見積を作成致しますので、御了承下さい。

**当社にて、駆除・防鼠工事を行なう場合、工事終了後 侵入するネズミに付きましては無料にてメンテナンスを致します。**

但し、お客様の過失（扉の破損・ガラスの割れ放置・増改築による隙間）による侵入の場合は上記の限りではございません。